



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立150年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標…「自ら感じ 考え 行動する子」

子供の主体性を大切にした「防災キャンプ」を目指して

これまで本校では、全校児童を対象に「防災教育」として「避難訓練」や「引き渡し訓練」を実施してきました。これらの訓練は、有事の際に役に立つことが予想されます。しかし、教員の指示に従って行動するだけの子供を育成して果たしてよいのだろうか？また、「静かに素早く行動する」といった子供の受動性を強めていたのではないだろうか？

ここに防災教育の質的転換、子供の主体性を大切にした「防災教育」が重要になってくると考えます。

私見ではありますが小学校の防災教育が目指すところは、生命の大切さを強く認識するとともに、自分で考えて行動し、いろいろな大人と関わる中、つながりを意識することにあるように思います。

今回、6月15日(木)と16日(金)に、一泊二日で4年生と5年生を対象とした「防災キャンプ」を本校を会場として実施します。そこでは、静岡県危機管理部危機情報課担当職員の協力の下、「ふじのくにジュニア防災士養成講座」を計画しています。講座では、「命を守る防災教育の重要性」をテーマとした動画を視聴したり、地震に対する基礎知識、家庭内対策、自助・共助の大切さを柱とした講話を聴いたりします。これだけですと受け身の学習で終わってしまいますが、避難所運営ゲーム等の防災演習を組み入れることで子供自身が深く考え、行動しようとする学びが期待できます。そして、子供たちは自分たちが住む地域の防災訓練に参加することで、地域防災に対する意識を高めることが期待されます。



【R4 5年生「防災講座」より】

各地域で実施する防災訓練では、いろいろな年齢の方たちが参加することと思います。小学校高学年の子供たちは高齢の方や乳幼児と交流し、そうした方々の避難を助けようとする手段を学ぶことでしょう。それは大切なことです。そして、それとともに参加した方から「多くの若い人たちが参加してくれて頼もしく思ったよ」とか「若い人に見守られているとわかって安心した」と声を掛けられたら、子供たちは大きな自信を得るとともに地域への愛着を強くするのではないのでしょうか。

そして、函南町には各地域に消防団があり、この桑村小学校区にも消防団があります。消防団の方たちは、火災が発生したら消火活動にあたり、自然災害等が発生した際にも避難誘導等の活動にあたることで、わたしたちの生活を守ってくれています。こうした活動をされている消防団の方々との交流も行いたいと計画しています。交流を通して「わたしちは、消防団の人たちに見守られているから安心して生活することができている。大切な地区を守るのはわたしたちの大切な役割だ。いつか大人になったときには愛する地域のために役に立ちたい」等の思いをもつかもしれません。

今年度初めて実施する「防災キャンプ」では、家庭や地域社会の協力が重要となってきます。どうか未来を生きる子供たちとともに、わたしたちの住む家や地区の大切さを深く見つめ、防災について考え、行動する学びへとつながるよう応援をよろしくお願いします。(文責 渡邊)



日	曜	給	週	行事予定	日	曜	給	週	行事予定
1	木	○	A	伝え合いタイム 韭山史跡巡り 6年 心電図検査 (1・4年) 貧血・生活習慣病検査 (5年)	16	金	○	A	防災キャンプ 2日目 4・5年生 13:00 下校
2	金	○	A	参観会・懇談会 防災キャンプ説明会 月曜日時間割	17	土			
3	土				18	日			地区 PTA 指導者講習会
4	日				19	月	×	B	3時間授業 あのねタイム (～30日)
5	月	○	B		20	火	○	B	スクールカウンセラー来校日
6	火	○	B	読み聞かせバイキング 韭山史跡巡り予備日 (6年)	21	水	○	B	桑村道場
7	水	○	B	縦割り遊び 桑村道場開校式	22	木	○	B	交通安全リーダーと語る会 (6年) 親子読書の会 18:00～
8	木	○	B	読み聞かせバイキング 耳鼻科検診	23	金	○	B	フッ素洗口
9	金	○	B	眼科検診 13:00	24	土			
10	土				25	日			町青少年健全育成大会
11	日				26	月	○	A	
12	月	○	A		27	火	○	A	代表委員会 委員会活動
13	火	○	A	SST	28	水	○	A	縦割り遊び③
14	水	○	A	桑村道場 あのねアンケート	29	木	○	A	朝会 交通安全教室 (3～6年)
15	木	○	A	マルベリー 防災キャンプ 1日目	30	金	○	A	フッ素洗口

縦割り活動 ～リレー会に向けて～



桑村小学校では、異年齢集団活動を通して、思いやりの心や仲間を大切にする心を育てるために、縦割り活動を実施しています。

これまでも、原生林探検や縦割り掃除を協力して行ってきました。

5月22日(月)の縦割り班会議では、リレー会を目指して、バトンパス練習に取り組みました。6年生が中心となって走順を確認し、バトンパスの相手と二人組になって、走りながらバトンの受け渡しができるように、練習を繰り返していました。

リレー会は、年間4回計画されています。桑っ子が協力して班の目標を達成したり、励まし合ったりする姿から「豊かな感性」が育まれることを願っています。